

地歴公民(世界史) 関西大学 全学日程 (2/2実施)

<全体分析>

試験時間 60 分

解答形式

大問4題ともマーク式。

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

分量は大問4題, 小問50問で, 昨年の2/2日程と比較すると変化なし。

難易度は, 昨年の2/2日程と比較するとやや難化した。

出題の特徴や昨年との変更点

地域 アジア史から2題, 欧米史から1題, 複合問題1題で, アジア史からの出題が多かった。

時代 古代から現代まで幅広く出題された。

その他トピックス

〔IV〕で地図問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	マーク空所 マーク正誤	啓蒙思想	代表的な啓蒙思想家の思想と, その政治的影響を扱う。フリードリヒ2世が支配していた国として「プロイセン王国」を求めた(1)は, 選択肢にプロイセン公国も含まれており, 正確に解答したい。	標準
〔II〕	マーク空所 マーク正誤 マーク設問	東南アジア諸地域の 民族運動	19世紀後半以降の, 東南アジア諸地域における民族運動について, 関連する事項を問う問題。ファン=ボイ=チャウが目指した政治体制として「立憲君主制」を求めた(5)は, 選択肢に共和政も含まれているため, ドンズー運動が展開された20世紀初めという時期から正確に判断する必要がある。	標準
〔III〕	マーク空所 マーク正誤 マーク設問	世界史上における 様々な記録媒体	世界史上, 記録に用いられてきた様々な媒体をテーマに, 文化史を中心に問う問題。昨年度に続き, 二つの事項の組み合わせの正誤を判断する形式の問題が, 問3, 問5で出題された。	標準
〔IV〕	マーク正誤 マーク設問	春秋・戦国時代から南 宋までの中国史 (地図使用)	春秋・戦国時代から南宋の滅亡に至るまでの政治史や文化史を出題。昨年度に続き, 空所に入る語句を判断したうえで, 関連する都市の位置を地図上から選ぶ形式の問題が, 問11~問15で出題された。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

一部に細かい事項を問う出題もみられるが, 教科書に沿った内容の問題が中心なので, まずは教科書の内容をしっかりと学習することが肝要である。手薄になりがちな文化史も, 例年問われる分野なので, やり残しを作らないように十分な対策をとっておくことが必要である。地理的な知識を問う問題がよく出題されているので, 資料集や地図帳を利用した学習が効果的である。過去に出題されたものと類似した問題もしばしば出題されるので, 本学の過去問をできるだけ多く解いておくことはよい対策になるであろう。